

# 目黒の学び舎から



聖契神学校ニュースレター No.2 2003年12月21日発行 発行人 関野祐二  
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 5-17-8 聖契神学校(東横線祐天寺駅、JR 目黒駅下車)  
電話 03-3712-8746 FAX 03-3712-8804 郵便振替口座 00190-1-85761 「聖契神学校」

主の聖名を讃美いたします。

いつも聖契神学校のため、お祈りとご支援をいただき、ありがとうございます。

神学校も冬休みに入り、ひっそりと静まり返っています。ほっとしたような、寂しいような。年が明ければ、後期のまとめや来年度の履修届、卒業と進路決定など、さまざまな不安要素が待ち受けるこの時期。届いた手紙をメールボックスに入れながら祈ります。どうか、お預かりしている大切な主の器ひとりひとりが守られ、整えられ、諸教会で存分に用いられますように、と。

「いま私は、あなたがたを神とその恵みのみことばとにゆだねます。」(使徒20:32) 在主任  
校長 関野祐二

## ● 後期授業あれこれ

月曜夜は、本年度新任の篠原先生による組織神学、同じく新任の丸山先生による教会史、そして小山田先生の旧約神学。初年度の授業準備の大変さは私も何度か体験済みですが、先のお二人はなんと、ある月曜日の夕刻、祐天寺駅前のマックで、互いに相手を知らぬまま背中合わせで一時間も必死に授業準備をしていたそう。火曜午前には勝本先生の日本教会史。大きな声は不滅です。校長室でも授業が受けられます。夜は長谷川先生の説教学A、小川先生の宣教学、漸波先生の牧会学。休み時間に、お饅頭と塩煎餅をふるまうのが私の仕事。木曜午前には私の神学概論。学生ラウンジで皆さんとお茶を飲む時間はすぐに終わってしまいます。夜は本多先生の旧約釈義と小山田先生の旧約緒論、そして私の新約神学。本多先生はヘブル語補講のため30分前から教室に入ります。阪神優勝で気分上々。小山田先生からは、広く超教派のお話を聞く絶好の機会です。金曜日は新任ピーターソン先生の説教学Bと、赤星先生の旧約釈義。チャペル説教が後半授業の材料となるため、赤星先生と私は戦々恐々。夜はピーターソン先生の敬虔主義。日本人以上に美しい日本語には感服です。そして土曜午前、私の新約緒論は年齢幅40歳の男性クラス。

## ● 寮長会は壊れてる？

始まる前からお腹がよじれてしまう、それが四月以来続いている寮長会です。場所は殺風景な校長室、メンバーは男子寮長内山兄、女子寮長平田姉、事務員、そして校長の四人。寮での生活実態(?)を把握し、問題点を確認し、学校側の意向を伝える場なのですが、あそこがこわれた、ここの電球が切れた(自分で替えてよ)、どこの扉が開かない、〇〇〇が〇いなどなど、なにせ施設の不具合が多い。「もっと明るい話題はないの?」と思わず言いたくなるほど、消極的な話ばかり。しまいには、「今日はどこがこわれた話かな?」と、こちらも楽しみになる始末。また、その期待を裏切らずにしっかり壊れた話(話そのものが?)が飛び出します。そんな細かいことまで、と思いつつ、そんな細かいことの積み重ねが生活なのだ実感します。牧会もきつとそうなのでしょう。細かいことに対応できなければ、深刻な相談も受けられないのですから。

## ● 献身者の集い、クリスマス会、そして

学校行事の、神学生による、献身者のための集会、そんな「献身者の集い・公開授業・オープンキャンパス」が祝福のうちに終了しました。外部からの出席者は21名。在校生の誘いによる方々も多くいます。校長と事務員だけではとても手が回らないところ、在校生が皆喜んで企画し、奉仕し、来校者を歓迎してくれました。神学校での学びは素晴らしいですよ、いっしょに学びませんか、そんな雰囲気は、上から押し付けて作り出せるものではなし。この学び舎を愛してくれている皆さんあればこそです。私はといえば、事前の打ち合わせはともかく、当日は公開授業で緊張していた(?)せいもあり、任せきりの部分が多くありました。それでよかったのかも知れません。来校された方々の中から、共に学ぶ方が多く起こされるよう期待しています。

ところでいつ頃からでしょうか、夜の授業が終わって門を閉めるために正面玄関を降りると、チャペル後ろの部屋からは金属音、向かいのカールソン宣教師宅からは、何かを爪弾く音色。しかも日に日にそれが上達していくのです。晴れてそれは、クリスマス会でのハンドベル(火曜日)、そしてバンジョー&ギターのミニコンサート(木曜日)に結実しました。ハンドベルは、揃いのスタイルにビックリ(来年は入れてもらおうかな)。バンジョーは絶妙なトークと軽快なブルース。バンジョーの贈り主に耳栓をプレゼントされたというポリーン夫人ですが、最近は(!)使ってないでしょうね。メグさん(林恵兄)とのコンビもほのぼの。両日共、レポートを気にかけて(?)作ったという女子寮生方のお料理と相まって、素晴らしいクリスマス会でした。

さて、次の大きな行事は入学試験と卒業式です。入学する人、送り出される人、わずか数年の神学校生活ですが、この学び舎で学びと交わりを満喫し、働きの基点にしてほしいと思います。予定では(あくまで予定ですが)、春になったら花壇にチューリップが咲き乱れるはず。ただ今園芸部長および部員が、花壇をかき回して落し物をする猫(三匹いるらしい)と格闘中です。

## ● 献金感謝と事務の状況

前回のニュースレターとともに「支援のお願い」文書をお送りして以来、それまでも増して続々とささげものが届いています。学生の皆さんからもたびたび受け取り、大いに励まされております。米国からの大口献金も与えられ、運営に支障をきたすような危機はとりあえず乗り越えられました。心より感謝いたします。注解書類の購入にも、そろそろ着手しようと考えております。別館三階の雨漏りは、原因がまだ特定できません。学生数も経営も、そしてもちろん靈的にも祝福と成長を、と願っているのですが、欲張りすぎでしょうか。でも主は、わたしに大胆に求めよと聖書から常に励ましてくださっていますから、ますますの全的祝福を祈り求めます。

現在神学校の事務方では、会計システムの整備と公認会計士による学び、新年度の予算組みが全力で進められています。運営委員会では、神学校の短期・中期・長期事業計画を立案中。主が聖契神学校に何を期待し、どんな事業展開を求めておられるのか、さぐりながら前進します。

## ● 聖契神学校の予定と祈りの課題

- ・ 1月13日(火) 神学校理事会で、新年度の活動計画と予算を決定します。この神学校がよりよく神さまに用いられ、諸教会に役立ち、お仕えすることができるように。
- ・ 3月5日(金) 入学試験、15日(月)が卒業式です。ふさわしい入学者が多く与えられるように。卒業を控えた7名の学びと、今後の進路、働きのため。在校生の学び。